

此國ハ島嶼極メテ多ク、大小百餘ニ及ブ、就中最モ大ナルモノヲ伊豆七島ト稱ス、即チ伊豆半島ノ東南約三十里ノ海上ニ點在スル群島ノ名ニシテ、大島、三宅島、御藏島、新島、利島、神津島、八丈島ノ七個ノ大島ト、附近ノ小嶼ヨリ成ル、現今ハ東京府ノ所管トス、而シテハ大島、三宅島、八丈島等ハ、古ヘヨリ罪徒ヲ放流スル處トシテ、其名高シ、事ハ法律部流刑篇及ビ遠島篇ニ載セタルバ、宜シク參看スベシ、

〔倭名類聚抄國郡〕伊豆

〔饅頭屋本節用集天地〕伊豆豆州

〔日本風土記寄語〕伊豆因慈

〔倭訓栞前編〕三、いづ、出をよめり、○中、伊豆の國も、相模駿河の海南に出たる土地なるをもて名くる也、

〔諸國名義考上〕伊豆

和名抄に伊豆國府在田方郡、名義は、或書に引る伊豆國風土記逸文に、伊豆東相模、西駿河、出、其中間之國故、伊豆、則出之義也云々とあり、彦麻呂思ふに、出湯イデユの約ツツりにてはあらざるか、○中、今も熱海アツシ、走湯シユ山、伊東イトウ、松原マツハラなどの温泉あり、古本和名抄に、温泉一曰イデ、以テ天由アメユ、出湯也とあり、

〔地勢提要乾〕各國經緯度附里程

伊豆下田町極高三十四度四十分半、經度東三度一十分、從東都東海道經三島驛、天城越、四十六里一十五町一十二間半、

伊豆八丈島大賀、極高三十三度六分半、經度東三度五十分半、從下田渡海、直徑四十七里二十一町

三十六間、從東都東海道經三島驛、天城越、至下田、沿海九十四里四十八間半、

〔日本經緯度實測〕北極出地